学校番号	3037

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　書道Ⅰ（大修館）						
副教材等	ペン字　実務（日本書写教育研究会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国、日本の文化の歴史的背景を踏まえて、書の起源から現代の書への流れを学び、用具用材による表現の違いも理解して技能を身につけていきます。書を愛好する豊かな心情を育てながら、工夫した自己表現をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の幅広い学習活動を通して審美眼を養い、感性を高めるとともに、書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
創作・作業活動から自己の在り方を考えつつ、現代の文化の多様性に即した自己表現の方法を培い育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
自己作品の完成に向けて、根気よくやり遂げようとする態度や書を通して心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の伝統と文化やその多様性について学ぶ。 ・創作活動を目標にかかげ、基礎的な技能を会得する。	・感性を働かせ、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫していく。	・自己作品の完成に向けて、根気よくやり遂げようとする態度を培う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現の基礎	1. 用具用材について	a:用具用材の名称・特徴を理解している b:用具用材の適材適所の使用ができている c:用具用材の取り扱い方を理解しようとしている	学習記録 (ノート)	学習成果 (作品)	授業中の行動 (観察)
	漢字の書	1. 楷書の学習(唐の四大家) 2. 行書の学習(王羲之、空海他) 3. 隷書・草書の学習 (1～3、書道史も踏まえて)	a:書道史における各古典の位置及び時代的筆法を理解している b:異なった古典表現の書き分けができる c:作品集をうまくまとめようとしている	学習記録 (ノート)	用筆法の理解を踏まえた学習成果 (作品)	装丁などの工夫 (提出物全体)
2学期	漢字の書	4. 篆書の学習(篆刻)	a:篆刻方法を理解している b:印稿を練成している c:押印、補刀による練成をしようとしている	篆刻プリント (基礎検字) 学習記録 (ノート)	篆刻プリント (印稿)	篆刻プリント (印影及び自己評価)
	仮名の書	1. 日本の古筆の学習 (時代背景を学び臨書)	a:日本の古筆の時代背景とともに基礎を理解している b:様々な古筆を臨書できる c:美意識に基づく作品仕上げをしようとしている	学習記録 (ノート)	学習成果 (作品)	提出物の装丁
3学期	漢字仮名交じりの書	1. 実用書の学習 2. 詩文の表現 (言文一致による言葉の表現の多様性と書表現を重ねて学ぶ。)	a:書式、構成について理解している b:自己を主体とする表現の工夫ができる c:知識、技能を駆使しようとしている	学習記録 (ノート)	学習成果 (実用書作品) (詩文作品)	表現などの実習の工夫 (観察)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度